

IEC（国際電気標準会議）/TC111 WG2

第1回会合について

日時：6月28日～29日

場所：東京、日本電機工業会館

参加者：7カ国（ドイツ、イタリア、日本、韓国、オランダ、アメリカ、タイ）から15名のエキスパートが参加

- 本会合は、電気電子機器に関する環境配慮設計に対する参加者の相互理解の醸成と今後の議論の基本的方向性を特定することを主な目的とした。
- 個別テーマの検討は、事前にコンビナーが作成した Thought Starter に従って行われ、環境配慮設計の手順並びに手続き上の要求事項、法規制の要求事項への対応、規格の利用者、環境特性の開示とサプライチェーンでのデータトレース等、本規格のスコープに関する検討が行われた。
- 特に、本会合の検討については、各国の現行制度の要求事項を反映するのみならず、今後策定される法制度の国際整合化に貢献するものを目指すとの認識で一致した。
- 今後、各国のエキスパートは、国、州、地域等を対象とする既存関連文書を検討し、その結果を報告することとされ、コンビナーは本年9月までにワーキングドラフトを作成・送付することとされた。

IEC TC111の国内体制について

